

運動療法
臨床報告 3月度
【肘関節】

結果例: 著効◎、有効○、やや有効△、
無効▲、悪化×

患者	日付	運動内容	効果	施術詳細
MMさん 男性71	3月1日	肘関節モビライゼーション	▲	伸展作業で一定角度に達すると痛みが出るので徐々に行いました。内外旋でも疼痛が起きやすいです。
	8日	〃	△	ゆっくりとした牽引施術、内外転の結果、比較的周囲の筋群の緊張緩和が感じられました。伸展動作でやはり肘頭には痛みが出るようです。
	15日	〃	△	施術者が力を入れると良い結果は出ないようです。また、患者さんにも痛みを生じやすいです。ゆっくり内外旋、牽引を行ったところ比較的良い可動性を感じました。
	22日	〃	—	ご本人の都合により施術自体が休み。
	29日	〃	△	肩関節の屈曲を行いながら、肘関節伸展のモビライゼーションを試行したところ今までで最も伸展し疼痛が少なかったようです。しかし、牽引、内外転の動きは固い状態が続いています。
TKさん 女性84	2日	肘関節モビライゼーション	△	伸展施術では、肘頭部分に痛みを伴ったようで拘縮の強い方の施術の対応を検討しなければならないと感じました。
	9日	〃	○	伸展施術、牽引、内旋外旋を可動域内で徐々に行ったところ、痛みは伴わず伸展状態を作ることができました。
	16日	〃	△	前回同様の結果は得られました。しかしそれ以上の状態には至りませんでした。
	23日	〃	△	少しずつご本人がモビライゼーションに慣れてきた様子で、緊張感が減少しました。そのためある一定の角度までは比較的容易に伸展します。最初の体制作りも重要と痛感しました。
	30日	〃	—	体調が良くないためか、わずかな刺激でも疼痛を訴えられ、関節運動自体が困難なため、モビライゼーションが出来ませんでした。
SAさん 女性64	7日	肘関節モビライゼーション	△	伸展施術は比較的可能でしたが、内旋している状態から外旋状態への可動性がなかなか進みませんでした。
	14日	〃	△	前回施術後の状態からは戻っている感じがあります。今回は伸展施術も堅い感じが感じられました。

	28日	〃	△	取り組み方法を若干変えて、肩関節屈曲を作り出してから肘関節の伸展動作を行ったところ比較的抵抗感が少なく開いていきました。その後のモビライゼーションは固い状態です。
--	-----	---	---	---

モビライゼーション・【肘関節】まとめ

健常者の方と比較すると、施術をする体制が元々行い難い上に、関節拘縮の症状が強い方にはまず、屈曲連動を利用して過屈曲をあえて起こし、腱反射を駆使してからモビライゼーションを行うという手順が必要なことが多くありました。

思いの外、難易度が高いと感じました。

今後の施術は、状態・症状別により細かく筋の動きを捉え施術にあたる必要を痛感しました。しばらくは、もう少し症例を研究し適合する施術形式を考慮することが大事だと思います。